

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成22年3月25日(2010.3.25)

【公開番号】特開2008-195793(P2008-195793A)

【公開日】平成20年8月28日(2008.8.28)

【年通号数】公開・登録公報2008-034

【出願番号】特願2007-30988(P2007-30988)

【国際特許分類】

C 08 F 12/16 (2006.01)

B 01 J 20/281 (2006.01)

G 01 N 30/02 (2006.01)

G 01 N 30/88 (2006.01)

【F I】

C 08 F 12/16

B 01 J 20/26 L

G 01 N 30/02 B

G 01 N 30/88 1 0 1 S

G 01 N 30/88 1 0 1 M

G 01 N 30/88 2 0 1 X

G 01 N 30/88 2 0 1 G

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月4日(2010.2.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

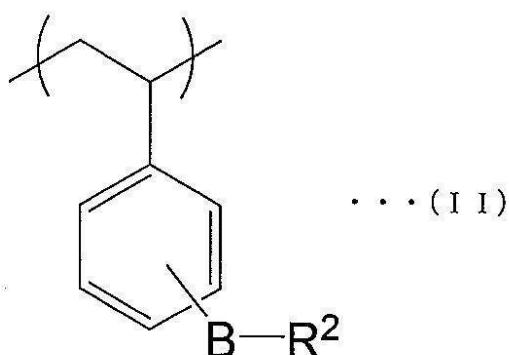
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記一般式(I I)で表される構成単位を有する化合物。

【化2】



一般式(I I)中、Bは直接結合または炭素数1以上4以下のアルキレン基を示す。R<sup>2</sup>はハロゲン原子が2個以上置換されている芳香族基を示す。

【請求項2】

前記ハロゲン原子が臭素原子である請求項1に記載の化合物。

【請求項3】

請求項1または2に記載の化合物を用いて形成された架橋重合体粒子。

**【請求項 4】**

重量平均粒子径が 0.1  $\mu\text{m}$  以上 3 0 0 0  $\mu\text{m}$  以下であり、且つ均一係数が 1.7 以下であることを特徴とする請求項 3 に記載の架橋重合体粒子。

**【請求項 5】**

請求項 3 または 4 に記載の架橋重合体粒子を用いて形成された吸着剤。